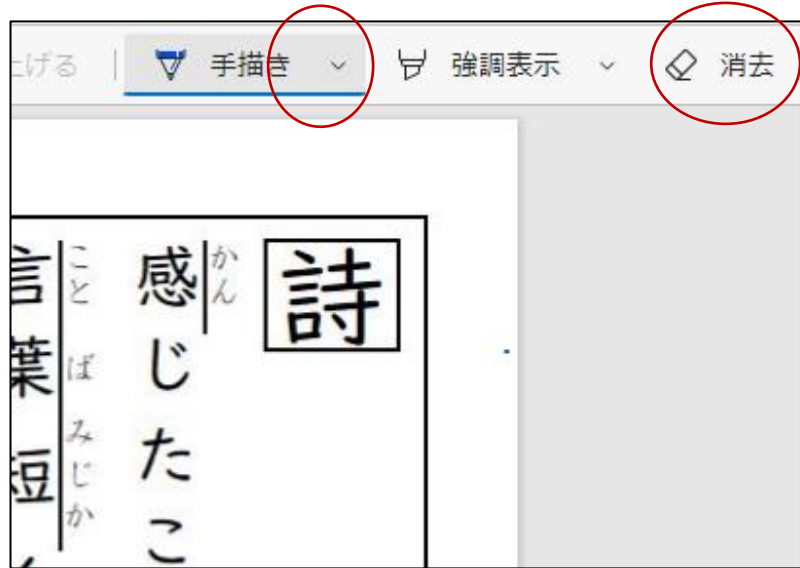


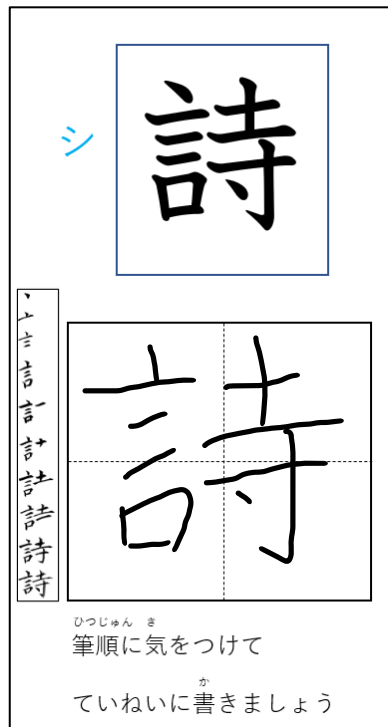
取り組み方

- ◎各学期の後半、習った漢字の書き復習として活用する。
- ◎硬筆書写のイメージで行う。正しく整えて書くことが目標。
 - ①「漢字音読名人」の聞き合いタイムを「タブレット版書き名人の見せ合いタイム」に切り替える。
 - ②あらかじめ、各自書いておき、見せ合いタイムで友達のチェックを受ける。
 - ③友達から指摘されたところがあれば、その部分を書き直し、二人の友達から合格をもらえばOK。



画面上部の「手書き」の横をクリックするとペン先の太さや色を選択できます。

その設定で、タブレットペンを使って練習します。




できるだけ手本の字の形に近づくように、消しゴムアイコンを使って形を整えていく、というやり方をします。

硬筆書写のイメージです。

その作業の中で、字形が映像として脳内に定着します。

| | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| か く の が い | こ と 葉 短 く | 感 ^{かん} じ た こ と |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------------|



せん ひ
線を引いたひらがなを
かんじ なお か
漢字に直して書きましょう。
なら
習っていない漢字は
ひらがなで書きます。

| | | |
|---|---|---|
| 書 | 言 | か |
| く | ば | ん |
| の | み | じ |
| が | じ | た |
| 詩 | か | こ |
| | く | と |
| 書 | | |
| 詩 | | |
| | | |
| | | |
| | | |

新出漢字と、すでに習っている漢字は書き、
習っていない漢字はひらがなでいいことに
します。

ここも、一回をていねいに整えて書く、
という練習の仕方をします。

マスが小さくて、うまく書けないという子
は、画面をうんと拡大して書けばいいので
す。

まだ、きちんと覚えられていない漢字が
あれば、空きスペースに自由練習します。

チャレンジ



| | | |
|---|---|---|
| か | こ | 感 |
| く | と | じ |
| の | 葉 | た |
| が | ば | こ |
| し | 短 | と |
| | く | |



せん ひ
線を引いたひらがなを
かんじ なお か
漢字に直して書きましょう。
習っていない漢字は
ひらがなで書きます。

| | | |
|---|---|----|
| 書 | 言 | かん |
| く | ば | じ |
| の | み | た |
| が | じ | こ |
| 詩 | か | と |
| | く | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |



ひつじゅん き
筆順に気をつけて
ていねいにか
ていねいに書きましょう



「うでだめし」として書いてみます。途中で分からなくなったら、前に戻って見てもいいことにします。この紙面を「ていねいな文字で正しく書き上げる」ことが目標です。

書き上げたら、友達に見せ、

- ◎……とてもいいね
- ……いいね
- △……おいしい

で判定してもらいます。
△の場合、どこを直せばいいか、指摘してもらい、直して、再チェックを受けます。
もう一人誰かに見てもらいます。二人の友達から「◎・○」をもらえたら、この漢字は合格。次の漢字に進んでいいことにします。